

# 新商品概要 / トピックス

## オフィス市場とインダストリー市場への戦略商品、A3カラーLEDプリンター3機種をラインアップ 業界初7年間無償保証「COREFIDO EX」シリーズを発売

2019年2月19日



COREFIDO EX「C835dnw」

OKIデータは、業界初「7年間無償保証」「メンテナンス品7年間無償提供」を実現した「COREFIDO EX」シリーズを発売しました。

新シリーズにはA3カラーLEDプリンター「C844dnw」「C835dnw」「C835dnwt」の3機種をラインアップしています。

「COREFIDO EX」シリーズ3機種は、業界初「7年間無償保証」「メンテナンス品7年間無償提供」を実現しました。ご利用期間中も突然の故障やメンテナンス（定期交換部品費や技術費・出張費など）にかかる出費を7年間削減します。これにより長期化している基幹システム（サーバー）の運用と保守契約に合わせたプリンター導入・運用を可能とします。

多様な用途に対応できるよう、さまざまなサイズや紙厚の用紙、特殊用紙への印刷に対応しました。食品スーパーやホーム

センターなどのPOPやポスターで使用される「耐水紙」や簡易包装で利用のある「短冊のし」、調剤薬局などで使用する「薬袋」といった多彩な媒体に出力が可能。オフィスから流通・小売、医療市場などさまざまな現場まで幅広くご活用いただけます。

また、長期に安定してご利用いただくために、装置本体の部品（主にギアやファンなどの駆動部）を素材から見直しを行うことで耐久性を高め、世界最小のコンパクトな筐体ながら装置寿命7年または100万ページを実現しました。また、業務を支えるプリンターだからこそ、快適にご利用いただけるように機能や操作性もこだわりました。新規開発の定着器によりウォームアップにかかる時間を従来機の約1/3に短縮して待ち時間を削減するとともに、TEC値<sup>※1</sup>は3割、最大消費電力も2割削減し省エネに貢献しています。なお、RoHS、エコマーク、国際エネルギースタートプログラムに適合しています。

※1：TEC値  
国際エネルギースタートプログラムで定められた測定法による数値。

●お問い合わせ先：OKIデータ URL：<https://www.oki.com/jp/printing/>

## クラウド版によりテレワーク向けバーチャルオフィスシステムを安価・手軽に 「ワークウェルコミュニケーター クラウド」を発売

2019年1月8日

OKIワークウェルは、従来のテレワーク向けバーチャルオフィスシステム「ワークウェルコミュニケーター（以下、WWC）」をより使いやすとした新商品「ワークウェルコミュニケーター クラウド（以下、WWCクラウド）」を販売開始しました。新商品は、重度障害者を在宅雇用する企業や、遠隔でIT教育を行う障害者支援団体などに適します。また障害者に限らず、テレワークによるワークライフバランスに取り組む企業にも有効なシステムです。

近年、在宅勤務をはじめとするテレワークが多くの企業・団体で行われるようになり、WWC導入のお問い合わせが増えてきましたが、「Windowsパソコンだけでなく、他のOSやタブレット端末、スマートフォンでも使えないか」「ソフトウェアを端末にインストールするのは手間がかかる」「もっと安価に導入できないか」などのご要望が寄せられていました。これを受け、専用ソフトウェアのインストールが不要で、安価で手軽に導入できる完全クラウド版となる「WWCクラウド」を開発しました。

OKIワークウェルはテレワークの導入にあたり、実際のオフィスに居るような雑談や非公式なコミュニケーションが可能なWWCの開発をはじめ、働きがい向上や生産性向上にむけたさまざまな工夫を凝らしており、他の企業の模範となる取組みが評価され、平成29年度総務省「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」を受賞しました。今後もテレワークによる障害者雇用の促進に広く貢献してまいります。



●お問い合わせ先：OKIワークウェル URL：<https://www.okiworkwel.co.jp/service/wwc/>

## 摺動屈曲1億回の優れた可動耐久性と高水準の耐ノイズ性能を同時に実現 最長伝送距離40mの「Camera Linkアクティブ光ケーブル」を開発

2018年12月3日



Camera Linkアクティブ光ケーブル

OKI電線は、マシンビジョン※1用カメラのインターフェース規格Camera Link（カメラリンク）※2に準拠し、最長伝送距離40mの「Camera Linkアクティブ光ケーブル」※3を開発し

ました。成長著しい画像検査装置分野に向けて出荷を開始しました。

新商品「Camera Linkアクティブ光ケーブル」では、今までの商品開発で培った技術を最大限に活用し、最長伝送距離40m、EFT/B試験※4レベル4（JIS C61000-4.4 印加電圧2kV）を満たす耐ノイズ性能、摺動屈曲1億回以上の可動耐久性を確保するなど、メタルケーブルを大きく上回る実用性と信頼性を実現しました。伝送距離の伸長によって、大型の機械装置や遠隔でのモニタリングにも使いやすくな

ります。また、耐ノイズ性能の強化によって医療用画像診断装置など高水準の信頼性が求められる用途へも使用ができます。

※1：マシンビジョン

1台以上のカメラ、光源、画像取り込み装置、画像処理装置によって外観や印刷欠損などの判別を行うシステム。主に基板実装装置や製品ラベル印刷装置などに使用される。

※2：Camera Link（カメラリンク）

マシンビジョン業界団体であるアメリカのAIA（Automated Imaging Association）が2000年に策定したインターフェース規格。多くのカメラメーカー、ボードメーカーで採用されており、現在マシンビジョン用デジタルインターフェースの主流となっている。

※3：アクティブ光ケーブル

アクティブ光ケーブルは、略称としてAOC（Active Optical Cableの略）とも呼ばれ、従来のメタルケーブルで課題とされた高速信号の減衰とそれに伴う伝送距離の制限を改善する電気-光変換ケーブル。従来の電気インターフェースとの物理的互換性を有しており、ユーザーは光であることを意識せずに一般的なインターフェースケーブルとして使用することができる。

※4：EFT/B試験（電氣的ファストトランジェント／バーストイミュニティ試験）

電源電圧や入力信号にパルス性のノイズが混入した場合の耐性を評価する試験。主にスイッチやリレーの接点開閉時に発生するノイズの影響を想定しており、ケーブル上から高電圧のパルスノイズを印加して、データ伝送への影響を評価する。（JIS C61000-4.4に準拠）

●お問い合わせ先：OKI電線 お客様相談窓口 TEL:0120-087-091

## 5Gネットワーク装置の小型化・低消費電力化に貢献 小型に集積可能なフォトダイオードで受光感度21.8A/Wを達成

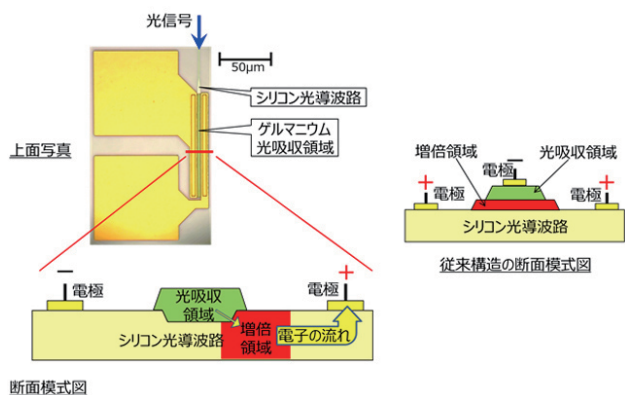
2019年3月4日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構と技術研究組合光電子融合基盤技術研究所（PETRA）、OKIは、光信号を電気信号に変換する素子であるフォトダイオードの小型化と高感度化を両立させる技術の開発に成功し、シリコンフォトニクス技術により他の光素子と集積可能なフォトダイオード（PD）を開発しました。

今回開発したPDは、アクセスネットワークで近年利用が始まった1600nm波長帯の光に対して高い受光感度を得るために、ゲルマニウム光吸収領域上に電極を持たない構造をとることにより、光吸収領域における光損失の低減を図り、その結果、世界最高となる21.8A/Wの受光感度を達成しました。

今後は、本開発素子を含め光源や光変調器などの全ての光素子をシリコンチップ上に集積化することにより、超小型光トランシーバーを実現し、5Gネットワークのスマートセル基地局装置に搭載される光通信ユニットの超小型化・低消費電力化に貢献します。

なお、PETRAとOKIは、本成果について、2019年3月3日から3月7日に米国カリフォルニア州・サンディエゴで開催された世界最大級の光通信関連の国際学会「Optical Fiber Communication Conference（OFC）2019」で発表しました。



今回開発したフォトダイオードの上面写真、断面模式図（左）、従来構造の断面模式図（右）

●お問い合わせ先：OKI 研究開発センター 先端基盤技術研究開発部  
URL: <https://www.oki.com/cgi-bin/inquiryForm.cgi?p=210j>